

科目名	情報リテラシー実践 A		基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
担当教員	時間割参照	前期	月～金曜日		2・3・5限	
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-102-1：全学共通科目					
授業方針・テーマ	基本的な情報の活用に係る知識・技能を習得すると共に、表計算ソフトの発展的利用として、基礎的な統計分析を含む問題解決に取り組む。					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none">・ 基本的な情報活用能力（情報倫理を含む）が向上する・ 統計学の基礎を理解し、データ分析の知識・技能を身につける・ 以上に挙げた情報活用能力に加え、コミュニケーション能力、総合的問題思考力、能動的学修姿勢、倫理観・社会的責任の自覚を習得できる					
授業計画・内容 授業方法	<p>【基本】4回程度</p> <p>1. 情報倫理講習会、授業ガイダンス（情報処理教室の使い方、教育システムの紹介）、レディネス調査</p> <p>2. コンピュータの基本操作と構造（ファイル・フォルダの管理、電子メールの送受信）</p> <p>3. ネットワークの仕組み、情報検索（WWWでの情報検索、学術情報の情報）</p> <p>4. 情報の活用と情報倫理、情リテ情報倫理テスト</p> <p>【標準】4回～6回程度</p> <p>5. 表計算ソフトによるデータ処理(1)（表の行と列、データの入力、セルの調整、数式処理、オートフィルなど）</p> <p>6. 表計算ソフトによるデータ処理(2)（関数、絶対参照と相対参照、グラフの作成など）</p> <p>7. 表計算ソフトによるデータ処理(3)（ソート、フィルタ、データの集計など）</p> <p>8. 課題提出のための実習</p> <p>9. 統計学についての基礎知識（データの種類、基本統計量、度数分布、ヒストグラムなど）</p> <p>10. 母集団と標本（平均・分散の推定、正規分布、t分布など）</p> <p>【発展】4回～5回程度</p> <p>11. 平均の差の検定(1)（対応のないデータについてのt検定）</p> <p>12. 平均の差の検定(2)（対応のあるデータについてのt検定）</p> <p>13. 相関分析</p> <p>14. 単回帰分析</p> <p>15. まとめ</p>					
授業外学習	eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。					
テキスト・参考書等	eラーニングシステム上に標準コースウェアを設置する。 クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。					
成績評価方法	以下の観点に基づき総合的に評価する（担当教員により若干異なる場合がある）。 <ul style="list-style-type: none">・ 授業への出席（4回以上の欠席は原則として不合格とする）・ 【基本】【標準】【発展】で提示される課題や発表・ 情リテ情報倫理テスト					
質問受付方法 (オフィスアワー等)	担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	初回の「情報倫理講習会」を受講しない場合、原則として授業を受講できなくなるため注意すること。 関連する授業科目として、後期に情報リテラシー実践 A（統計学の基礎とデータ分析）、情報リテラシー実践 B（プログラミング）、情報リテラシー実践 C（画像・音・映像等の処理）を提供している。					